

令和5年度 見附市優良工事表彰

工 事 名 今町終末処理場 管理棟 改築更新及び耐震補強 工事

施 工 場 所 見附市 今町7丁目 地内

請 負 者 株式会社吉田建設 見附支店 取締役支店長 吉田 淳志

工 事 概 要

工 期 令和4年3月30日 ～ 令和5年3月31日

完成年月日 令和5年3月31日

施 工 内 容 改築更新工事

- ・動力制御盤、分電盤更新 N=11面
 - ・空調設備更新 N=17基
 - ・管理棟(1F～3F屋内)更新 A=3,232m²(延床)
- 耐震補強工事
- ・壁面補強工 A=345m²

評 定 点 85 点

請 負 金 額 ¥215,691,300 円

現 場 代 理 人 菅井 健司

主 任 技 術 者 菅井 健司

推 薦 部 署 上下水道局

監 督 員 高井 克圭

表 彰 理 由

本工事は、今町終末処理場の1階から屋上までの耐震補強及び改築更新を行うものである。工種が建築・建築電気・建築機械・土木と多岐にわたり、工事の障害となる既存設備の移設・再設置や処理場の運転管理を止めずに施工する必要があるなど様々な制約がある中、各工種の工程調整を適切に行い、工程の進捗に努め、工期内に無事故で工事を完了させた。

以上の理由から、本工事は他の模範となる優良工事である。

施工写真

着手前



竣工



令和5年度 見附市優良工事表彰

工 事 名 防安交第64-A170-1号 市道福島柳橋線 舗装修繕 工事

施 工 場 所 見附市 新幸町 地内

請 負 者 株式会社吉田建設 見附支店 取締役支店長 吉田 淳志

工 事 概 要

工 期 令和4年7月15日 ~ 令和4年10月27日

完成年月日 令和4年10月27日

施 工 内 容 舗装打換え L=200m 幅員W=6.0(9.3)m

②基層工(t=5cm) A=1,660m²

⑤表層工(t=5cm) A=1,660m²

L型側溝布設替 L=18m

区画線工 L=714m

評 定 点 84 点

請 負 金 額 ¥19,060,800 円

現 場 代 理 人 高橋 浩

主 任 技 術 者 高橋 浩

推 薦 部 署 建設課

監 督 員 永井 翼

表 彰 理 由

本工事は、新潟県中部産業団地内に位置する、市道福島柳橋線の舗装打換え工事である。本工事は、主に産業団地内企業の大型車の通行が特に多く、企業の乗り入れ口にも面していたため、工程面で多くの調整を求められたが、適切な施工計画を立案し、工期限内に竣工させた。また、施工にあたっては、安全管理や品質管理など、多岐にわたる部分でNETIS登録の新技術を採用しており、会社全体で安全性及び品質の向上に務めていることが認められる。

以上の理由から、本工事は他の模範となる優良工事である。

施工写真

着手前



竣 工



令和5年度 見附市優良工事表彰

工 事 名 建工 第37号 新潟西町排水路改良工事

施 工 場 所 見附市 新潟西町 地内

請 負 者 株式会社吉田建設 見附支店 取締役支店長 吉田 淳志

工 事 概 要

工 期 令和4年9月1日 ～ 令和5年3月25日

完成年月日 令和5年3月24日

施 工 内 容 護岸工 N=1箇所、排水路改良 L=82.9m
矢板護岸工 L=3m
間知ブロック張 A=25m²
ボックスカルバート(500×500) L=12m
排水フリューム(600×500) L=64m
現場打ち集水桝 N=3基

評 定 点 80 点

請 負 金 額 ¥10,935,100 円

現 場 代 理 人 大野 貴也

監 理 技 術 者 大野 貴也

推 薦 部 署 建設課

監 督 員 徳武 隆

表 彰 理 由

施工箇所の一級河川貝喰川右岸堤防は、既設水路が直接、河川に接続された開口構造となっており、周囲に比べ堤防高さが不足していたことから、出水時には、越水や逆流による背後地(水田)の湛水被害が生じていた。

本工事は、前述の湛水被害を防止するため、当該開口部を閉塞したものであり、主に矢板護岸の新設、築堤及び流末変更に伴う排水路の整備を行ったものである。

施工にあたっては、施工期間が非出水期に限定されることに加え、かつ農地に近接する工事であることから田植え準備前の完了が求められるなど工程の制約を受けたが、受注者の適切な工程管理により無事故で工事が完了した。また、施工過程で生じた課題や地元対応も的確に行い、工程に無駄が無かった。以上により、本工事は他の工事の模範となる優良工事であると認められる。

着手前(護岸工)



竣工(護岸)



施工中(矢板護岸工)



竣工(排水路工)



令和5年度 見附市優良工事表彰

工 事 名 防安交第64-A32-19号 市道本所1号線ほか 消雪施設新設 工事

施 工 場 所 見附市 本所1丁目 地内

請 負 者 株式会社 上熊組 代表取締役 上村 堅一郎

工 事 概 要

工 期 令和4年9月1日 ～ 令和5年1月23日

完成年月日 令和5年1月23日

施 工 内 容 消雪パイプ新設 L=399m
送水管据付工 HIVP φ 65 L= 25m
散水管据付工 HIVP φ 125 L= 4m
散水管据付工 HIVP φ 100 L= 89m
散水管据付工 HIVP φ 65 L=281m

評 定 点 82 点

請 負 金 額 ¥17,602,200 円

現 場 代 理 人 近藤 敏夫

主 任 技 術 者 近藤 敏夫

推 薦 部 署 建設課

監 督 員 永井 翼

表 彰 理 由

本工事は、市道本所1号線ほか3路線の消雪パイプ未整備区域に、消雪パイプを新設する工事である。施工にあたり、住宅街における通行止めが必要な工事であったため、地元調整が特に求められたが、適切な調整を行い、工期内に竣工させた。

工事区間においては、様々な工夫によって積極的な安全対策を施し、現場内での事故防止に努めたほか、現場付近で交通事故が発生した際には、作業を中断して救助活動に専念しており、このような姿勢は、会社全体で日頃から安全管理を徹底している結果であると認められる。

以上の理由により、本工事は他の模範となる優良工事である。

施工写真

着手前



竣工

